

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科
博士後期課程 専門職業人入学試験問題 [小論文]
【教育基礎学専攻】

解答上の注意

1. 教育基礎学専攻の入学試験問題は、出願時に届け出た指導教員の欄に従い、下記の表の解答すべき問題を解答しなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題・ページ
教育学研究指導	藤井 千春	設問（P.2）
教育学研究指導	2023 年 4 月着任予定	
教育学研究指導	坂倉 裕治	
教育学研究指導	根津 朋実	
教育学研究指導	菊地 栄治	
教育学研究指導	三尾 忠男	
教育学研究指導	吉田 文	設問 1 ～設問 2（P.3）の中から 1 問解答
教育学研究指導	濱中 淳子	
社会教育学研究指導	矢口 徹也	
社会教育学研究指導	小林 敦子	
教育心理学研究指導	上淵 寿	本年度は出題なし
教育心理学研究指導	堀 正士	
教育心理学研究指導	椎名 乾平	
教育心理学研究指導	坂爪 一幸	
教育心理学研究指導	本田 恵子	
教育心理学研究指導	梅永 雄二	
初等教育学研究指導	河村 茂雄	設問 1 ～設問 2（P.4）の中から 1 問解答
初等教育学研究指導	佐藤 隆之	
初等教育学研究指導	大泉 義一	

2. 解答用紙の所定欄に、研究指導名・指導教員名・受験番号・氏名を必ず記入すること。
3. 解答用紙が複数枚配付された場合、ホッチキスははずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
4. 問題用紙は「4 枚」（本ページ含む）、解答用紙は「1 枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2023年度 早稲田大学大学院 教育学研究科
博士後期課程 入学試験問題
専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

当問題は、以下の研究指導を志願する専門職業人を対象とする。

教育学研究指導（藤井千春）

教育学研究指導（坂倉裕治）

教育学研究指導（根津朋実）

教育学研究指導（菊地栄治）

教育学研究指導（三尾忠男）

教育学研究指導（2023年4月着任予定）

設問

現行の学習指導要領の「前文」には、次の記述がある。

これからの学校には、(中略)一人一人の生徒〔小学校：児童〕が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

学校におけるこのような教育の在り方を具体化するために、どのような教育課程や学習活動の指導・支援が求められているか、あなたの考えを具体的に論じなさい。

2023年度 早稲田大学大学院 教育学研究科

博士後期課程 入学試験問題

専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

教育学研究指導（吉田文、濱中淳子）、社会教育学研究指導（小林敦子、矢口徹也）志願者

問題 次の2つの設問のうちから1問を選択して答えなさい。答えは、別紙解答用紙に、選択した設問の番号を付して記入しなさい。

設問1. 社会の変化に伴い、子供や家庭を取り巻く環境は大きく変化している。こうした状況において、学校はどのような形で家庭教育の支援を行うことが可能であるのか、自由に論じなさい。

設問2. 学校をコミュニティとしてみたとき、どのような期待ができ、他方で限界についてどのように捉えられるのか、具体的に論じなさい。

2023 年度

早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程入学試験問題

専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

次の【設問】は、以下の研究指導の志願者を対象とする。

初等教育学研究指導

(大泉義一) (河村茂雄) (佐藤隆之)

問題 次の2つの設問について、どれか一つを答えなさい。答えは別紙解答用紙に、選択した設問の番号を記した上で記入しなさい。

設問 1 新学習指導要領（平成 29 年 3 月公示）では児童生徒の資質・能力の育成の必要性が示され、その中で「学びに向かう力や姿勢」といわれる非認知能力は、核の一つとして育成が期待されている。あなたなら授業でどのような工夫をして非認知能力を育成していくのかを、関わっている学校種の児童生徒・学生の発達段階や実態を踏まえて、具体的な例をあげて説明しなさい。

設問 2 自身の研究分野における美術教育と社会のつながり、あるいは平成 29 年 3 月に告示された学習指導要領で実現が目指されている「社会に開かれた教育課程」における美術教育のあり方について、依拠する理論を一つ援用しつつ、自身が関わっている学校種の児童生徒・学生の発達の段階や実態をふまえた実践例を挙げて具体的に論じなさい。

▼ 裏面を使用する場合はここから記入すること ▼

▲ ここまで ▲